

沖縄キリスト教学院大学  
2019年度 後期  
授業改善アンケート結果報告書

2020年 7月9日

IRセンター

## はじめに

2014年度から続く授業改善アンケートは、学生たちとともに授業を創るという理念のもと、学生の回答に対する教員のコメントを付記し、集計結果とともに学内HPで公開することで、授業改善の材料にするとともに学生へのフィードバックの役割も果たしている。本アンケートの特徴は以下の通りである。

- ① 「履修動機について」「学生自身の授業への取り組み」「学生による教員への授業評価」「授業を受けて得たもの」「総合的評価」の5つのカテゴリーについては6つの選択肢で、「記述回答」のカテゴリーは自由記述により回答されている。
- ② アンケートは、授業開始直後の15分間で行っている。学生にとっては、「振り返り」という教育的な意義があり、教員の側としては、しっかりとした記述回答の時間を学生に保障し、よりよい改善のための資料を得ようとする意図がある。

各質問項目の意図を以下に説明する。

**履修動機について (質問 1)**

この質問は、学生が授業を選択する際の動機について問う質問である。選択肢として 10 個用意しており、その中から 3 つを選ぶ。

質問 1 履修動機 3 つを選択せよ  
①授業内容に関心があったから ②教員に魅力があったから ③単位がとりやすそうだから ④友だちが多く履修しているから ⑤自分の専門に関係が深い分野だから ⑥幅広い教養を身につけるため ⑦先輩に勧められたから ⑧希望授業が取れなかったので仕方なく ⑨必修 (あるいは免許取得に必要) だから ⑩その他

**I. 学生自身の授業への取り組み (質問 2～6)**

授業とは教員と学生とがともに創り上げるものであり、教員だけではなく学生自身の取り組みもまた自省されなくてはならない。具体的には、質問のあとに特に選択肢が示されていない限り、「①そう思わない ②あまりそう思わない ③どちらともいえない ④そう思う ⑤大いにそう思う ⑥質問がこの授業に該当しない」という 6 項目の中から選択して回答する。

質問 2	欠席回数 (① 4 回以上 ② 3 回 ③ 2 回 ④ 1 回 ⑤ 皆出席)
質問 3	真面目に授業参加
質問 4	事前準備
質問 5	発展的学習
質問 6	週平均の授業時外学習時間 (① ほぼ 0 時間 ② 1 時間未満 ③ 1～2 時間 ④ 2～3 時間 ⑤ 3 時間以上)

**II. 学生による教員への授業評価 (質問 7～19)**

この質問群では、狭義の授業改善アンケートといえるもので、教員の授業技術、方法、内容などの具体的な事柄を問うており、教員は改善点を見出すことができる。具体的には次のような質問を用意した。

質問 7	聞きやすい話し方
質問 8	各回の授業内容の量が適切だった
質問 9	各回の授業内容は明確だった
質問 10	授業を乱す行為への対応
質問 11	教科書は妥当であった
質問 12	補助教材は効果的であった
質問 13	板書の仕方 (パワーポイントなど)
質問 14	講義法以外の教授法 (討論・発表など)
質問 15	教員の授業準備
質問 16	宿題・課題など (① 多すぎる ② すこし多い ③ 適切である ④ すこし少ない ⑤ 少なすぎる)
質問 17	クラスの規模 (受講学生数) (① 多すぎる ② すこし多い ③ 適切である ④ すこし少ない ⑤ 少なすぎる)
質問 18	成績評価の基準の明確
質問 19	授業実施教室は適切か

### Ⅲ.授業の総合的な評価（質問 20～22）

この質問群では、これまでの質問群を踏まえたうえで、授業の総合的な評価を行う。数値による総括的な評価である。具体的な質問項目は次の通りである。

質問 20	この授業で、自分自身が成長できた
質問 21	わかりやすい授業だった
質問 22	この授業を受けて満足した

### Ⅳ.学修成果の到達度の自己評価（質問 23～26）

この質問群では、各授業におかれた「到達目標」を振り返って考えてみたときに、どれくらい自らがそれに到達しているかを測った自己評価である。質問項目は次の通りである。

質問 23	この授業内で説明された知識を理解し、身につけることができた。(知識・理解)
質問 24	ルーブリックに示されている技能や表現等を身につけることができた。(技能・表現)
質問 25	この授業で学習した知識や技能を活用して、あなた自身や周囲の、問題提起や課題解決ができるようになった。(思考・判断)
質問 26	この授業で学習した知識や技能を活用して、あなた自身や周囲の、問題提起や課題解決ができるようになった。(思考・判断)

### 記述による評価

選択制では読み取れない、各授業に対する学生の考えをこの記述による評価でみるができる。具体的には以下の質問項目を用意した。

質問 27	この授業で良いと思ったこと
質問 28	この授業で改善すべきだと思った点
質問 29	教員が用意した質問

このような授業改善アンケートを全 72 科目、116 クラスにおいて実施した。  
投与された評価票は 2163 件であった。

## 1 学生による授業改善アンケート結果の概要

数量的なデータを俯瞰することで学部全体の課題をみていく。全体的な統計にそぐわない質問項目もあるが、平均値からみた全体の傾向や要因分析を行っていく。

質問項目	度数	平均値
質問1 履修動機(3つまで) (①授業内容に関心があったから ②教員に魅力があったから ③単位がとりやすそうだから ④友だちが多く履修しているから ⑤自分の専門に関係が深い分野だから ⑥幅広い教養を身につけるため ⑦先輩に勧められたから ⑧希望授業が取れなかったのでは仕方なく ⑨必修(あるいは免許取得に必要)だから ⑩その他)		-
質問2 欠席回数 (①4回以上 ②3回 ③2回 ④1回 ⑤皆出席)	2145	3.26
質問3 真面目に授業参加	2129	4.35
質問4 事前準備	2155	4.22
質問5 発展的学習	2128	4.11
質問6 週平均の授業時外学習時間 (①ほぼ0時間 ②1時間未満 ③1~2時間 ④2~3時間 ⑤3時間以上)	2154	2.64
質問7 聞きやすい話し方	2159	4.61
質問8 各回の授業内容の量が適切だった	2157	4.58
質問9 各回の授業内容は明確だった	2150	4.61
質問10 授業を乱す行為への対応	2153	4.59
質問11 教科書は妥当であった	2153	5.06
質問12 補助教材は効果的であった	2155	4.93
質問13 板書の仕方(パワーポイントなど)	2114	4.64
質問14 講義法以外の教授法(討論・発表など)	2155	4.89
質問15 教員の授業準備	2147	4.70
質問16 宿題・課題など (①多すぎる ②すこし多い ③適切である ④すこし少ない ⑤少なすぎる)	2157	3.06
質問17 クラスの規模(受講学生数) (①多すぎる ②すこし多い ③適切である ④すこし少ない ⑤少なすぎる)	2159	3.07
質問18 成績評価の基準の明確	2157	4.43
質問19 授業実施教室は適切か	2145	4.69
質問20 この授業で、自分自身が成長した	2154	4.53
質問21 わかりやすい授業だった	2153	4.53
質問22 この授業を受けて満足した	2150	4.55
質問23 知識を理解し、身につけることができた	2141	4.47
質問24 技能や表現等を身につけることができた	2137	4.39
質問25 問題提起や課題解決ができるようになった	2137	4.39
質問26 主体的に学び課題に取り組む意欲が増した	2137	4.45

## 2. 総合的な満足度からみる要因分析

本授業改善アンケートの中で、質問 22 は授業に対する総合的な満足度を表す質問とみなすことができる。そこで、この質問 22 と相関の強い質問事項を洗い出し、どのような授業が総合的な満足につながるのかを調べた。その方法として質問 22 の評価を目的変数<sup>1</sup>（従属変数）とし、質問 7 から質問 21 の 8 項目を説明変数<sup>2</sup>（独立変数）とした重回帰分析を行った。

		偏回帰係数	p<0.01
質問7	聞きやすい話し方	-0.01	
質問8	各回の授業内容の量が適切だった	0.06	**
質問9	各回の授業内容は明確だった	0.02	
質問10	授業を乱す行為への対応	0.05	**
質問13	板書の仕方(パワーポイントなど)	-0.01	
質問15	教員の授業準備	0.03	
質問20	授業を通じた自身の成長	0.33	**
質問21	わかりやすい授業	0.55	**

表 1 目的変数を質問 22 とした重回帰分析

相関を表す偏回帰係数が大きい次の 4 項目については、総合的な満足度である質問 22 の回答との相関が他の質問より比較的強いといえる。

- ・質問 8 各回の授業内容は明確だった
- ・質問 10 授業を乱す行為への対応
- ・質問 20 授業を通じた自身の成長
- ・質問 21 わかりやすい授業だった

今回の質問 22 「この授業を受けて満足した」に対する評価の平均値は 4.55 であった。また平均値 4.5 以上のクラス（授業）が 71 クラス（全体の 61.6%）あり、評価が総じて高いことがわかる。各クラスにおける質問 22 の平均値の分布をヒストグラムで示した図 1 からも同様の結果をみることができる。

<sup>1</sup> 目的変数：他の変数によって「説明される」変数のこと

<sup>2</sup> 説明変数：目的変数を「説明する」変数のこと

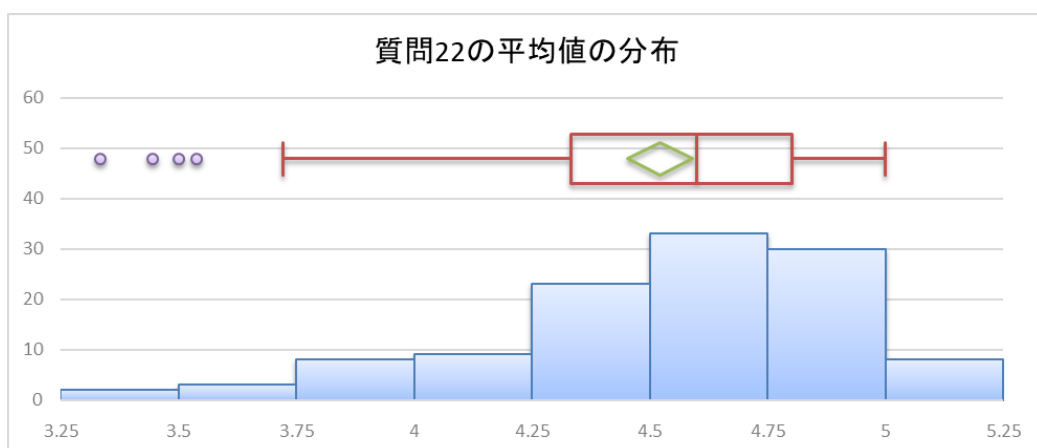


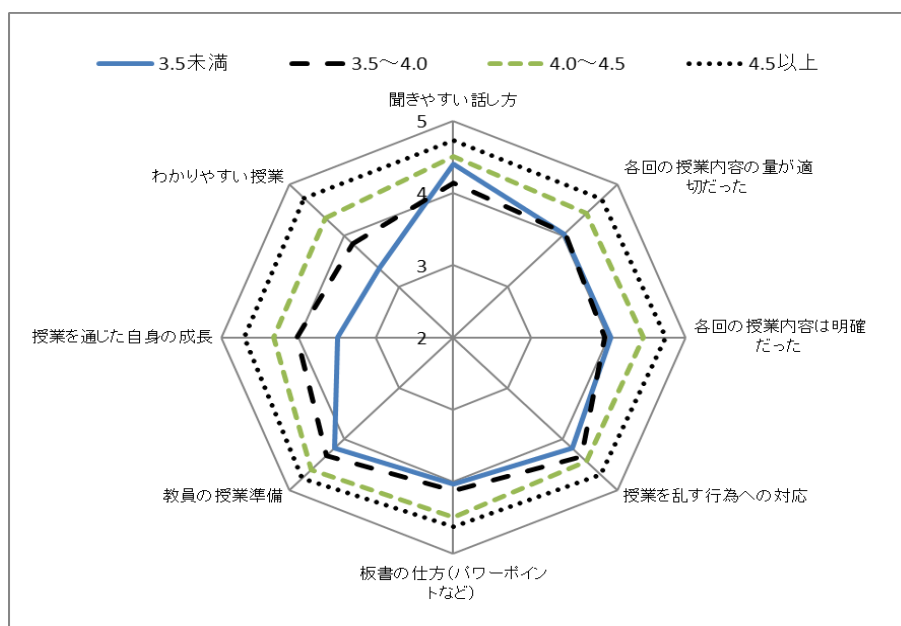
図1 質問22の平均値でみたクラスのヒストグラム

また、質問22の平均値によって次のようにクラスを4つに分類した。

平均	3.5未満	3.5~4.0	4.0~4.5	4.5以上
クラス数(実数)	2	11	32	71

表2 平均値にカテゴリー別のクラス数

表2で分類した4つのカテゴリー（3.5未満、3.5~4.0、4.0~4.5、4.5以上）に属するクラス（授業）において質問22を除いた8項目のそれぞれの平均値をレーダーチャートに表示した。



(中心の基準点を2.0とし外に広がるに従って4.0、5.0と評価が高くなる)

平均値 4.0～4.5 や 4.5 以上のグループでは、均等に広がった形の多角形を描いているのに対し、3.5～4.0 のグループでは、少し形が崩れてくる。3.5 未満のグループでは一部へこんだ形の均等ではないレーダーチャートになっている。カテゴリーによる特徴は他に次のようなものがある。

□3.5 未満のグループ

- ・他のグループに比べて比較的評価は低いものの、一部の項目では優れている点もある。
- ・質問 22 との相関が高い「質問 20 授業を通じた自身の成長 (3.49)」、「質問 21 わかりやすい授業だった (3.36)」の 2 つの評価が低い。

□3.5～4.0 未満のグループ

- ・4.0 以上のグループと比較すると、全体的な評価は低い。
- ・3.5 未満のグループと同様に「質問 20 (4.02)」「質問 21 (3.83)」については、4.0 以上のグループと開きがある。

□4.0～4.5 未満のグループ

- ・項目全体にわたって評価が高い。
- ・「質問 13 板書の仕方 (パワーポイント) など (4.49)」や「質問 15 教員の授業準備 (4.60)」は比較的評価が高い。

□4.5 以上のグループ

- ・全ての項目にわたって安定して評価が高い。
- ・挙げた 8 項目内において、最も低い評価は質問 13 (4.63) で、最も高い評価は質問 15 (4.76) である。



### 3 自由記述による評価（改善点を中心に）

自由記述による授業評価は、①授業の良い点、②改善してほしい点、の2つの設問から構成されている。数値としてでてこない学生の生の声・本音に触れられるところが、自由記述評価の長所・利点といえる。

質問27の回答からは、本学の特徴的といえるキリスト教の授業について、「わかりやすかった」「興味が増した」「理解が深まった」等、学びが増えたことがわかるコメントが数多くあった。

沖縄の歴史やうちなーぐちを含むリベラルアーツの授業について、授業からの学びが充実していたことと教員に対する感謝の言葉が多くみられる。

オーラルの授業では、ディベートやタスクをこなすことで、「英語」を学ぶと同時に英語で「何ができるか」を体感しながら学んでいることがわかる。

予習前提の授業においても、大変な中に自分の力になったとのコメントがあり、反転学習の効用が確認できる。

質問28の回答からは、学生が授業中に気になったことや教員への要望としてのコメントがみられる。前年度にあった成績のつけ方に対する不満や提案がほとんどみられなかったことから、シラバスの整備とともに授業内容や評価の仕方の明示が確立しつつある。

ディスカッションや映像教材についての意見など、具体的な提案や要望が多かれ、学びへの積極性が感じられる。

#### おわりに

授業改善アンケートに協力してくれた教員の方々や学生の皆さま、また関係部署の皆さま、ご協力ありがとうございました。

今後、このアンケート調査の結果をより有意義にしていくために質問事項の見直しや、関係各所のスムーズな連携を続けていきたいと思えます。また学生へのフィードバックがより迅速に行えるようにイントラネットの周知も引き続き行っていきます。

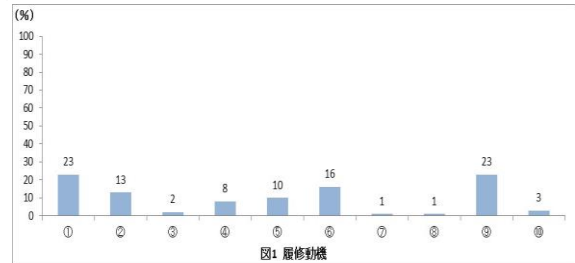
この授業改善アンケートが教員の評価を決定づけるものではなく、個々の教員の授業改善の材料となり、学部の教育力の向上に繋がり、学生の修学意欲を高める役割を担っていることを期待いたします。

履修動機について（質問 1）

質問 1 この授業を履修した動機を最も適切なものを3つ選択して下さい。

- ①授業内容に関心があったから
- ②教員に魅力があったから
- ③単位がとりやすそうだから
- ④友だちが多く履修しているから
- ⑤自分の専門に関係が深い分野だから
- ⑥幅広い教養を身につけるため
- ⑦先輩に勧められたから
- ⑧希望授業が取れなかったので仕方なく
- ⑨必修（あるいは免許取得に必要）だから
- ⑩その他

質問 1 履修動機

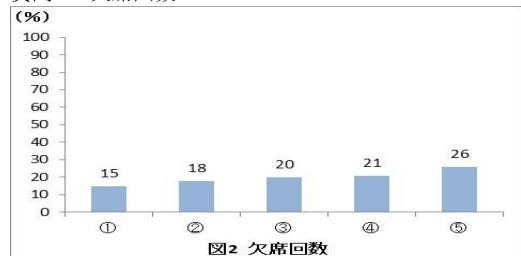


1. 学生自身の授業への取組（質問 2～6）

質問 2 授業全体を通じての欠席回数は何回くらいですか。

- ① 4回以上
- ② 3回
- ③ 2回
- ④ 1回
- ⑤ 皆出席

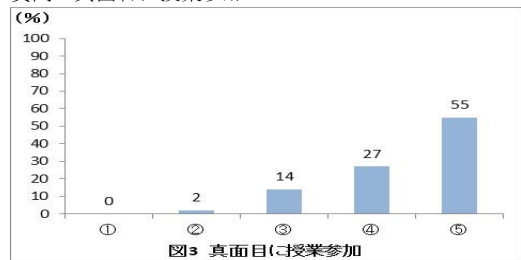
質問 2 欠席回数



質問 3 私語・居眠りなどせず真面目に授業に参加した。

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

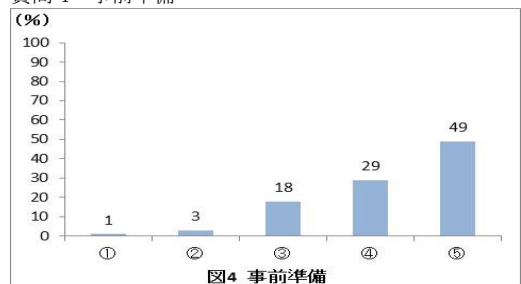
質問 3 真面目に授業参加



質問 4 この授業の履修にあたって十分な準備ができていた（どのような授業か調べて履修したか、自分の学力レベルにあっているかを確認したか、など）

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

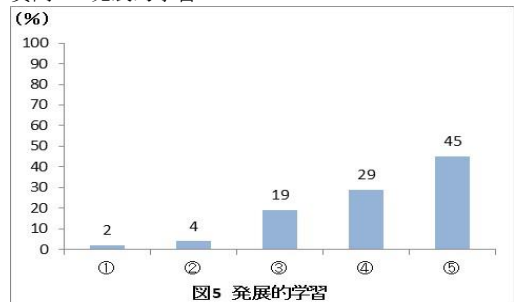
質問 4 事前準備



質問 5 授業をきっかけにして自分自身で発展的な学習をした

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

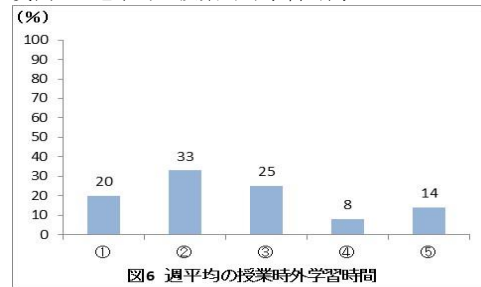
質問 5 発展的学習



質問6 この授業に関連して、授業時以外に学習した時間（平均して1週間で）

- ① ほぼ0時間
- ② 1時間未満
- ③ 1～2時間
- ④ 2～3時間
- ⑤ 3時間以上

質問6 週平均の授業時外学習時間

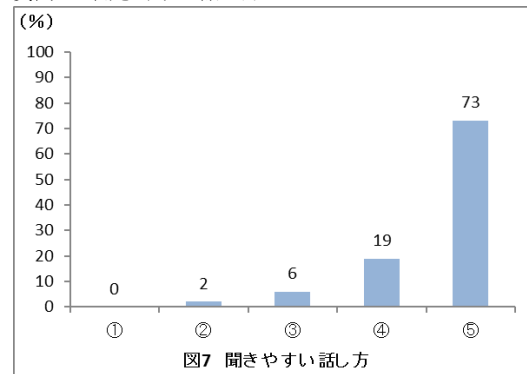


II. 学生による教員への授業評価（質問7～19）

質問7 聞きやすい話し方だった（スピード・音量・マイクなども含む）

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

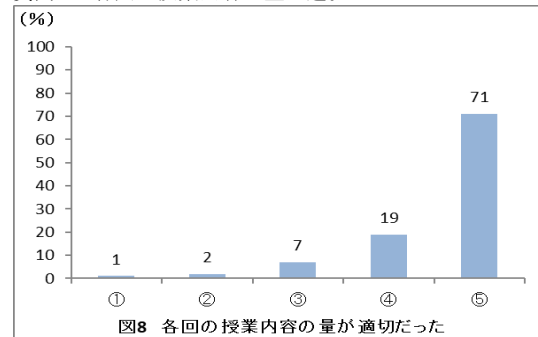
質問7 聞きやすい話し方



質問8 各回の授業内容の量が適切だった

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

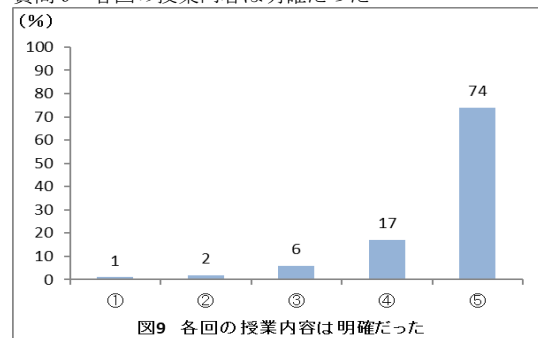
質問8 各回の授業内容の量が適切だった



質問9 各回の授業内容は明確だった

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

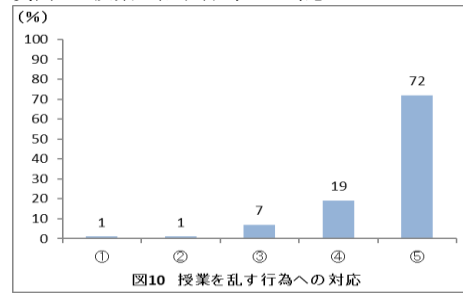
質問9 各回の授業内容は明確だった



質問 10 教員は説明中心な講義法以外の教授法（討論・発表など）を必要に応じて適切に用いていた

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う
- ⑥ 質問がこの授業には該当しない

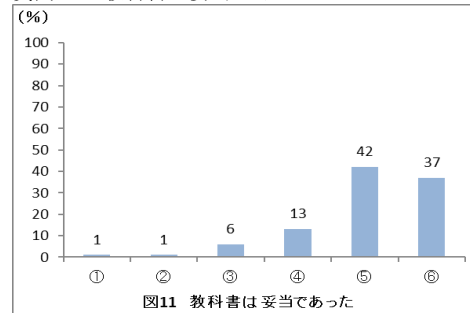
質問 10 授業を乱す行為への対応



質問 11 教科書（難易度・使用頻度など）は妥当であった

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う
- ⑥ 質問がこの授業には該当しない

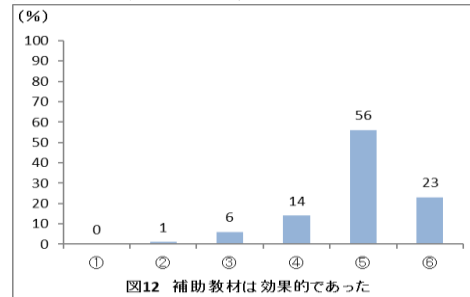
質問 11 教科書は妥当であった



質問 12 補助教材（授業プリント・視聴覚教材）は効果的であった

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う
- ⑥ 質問がこの授業には該当しない

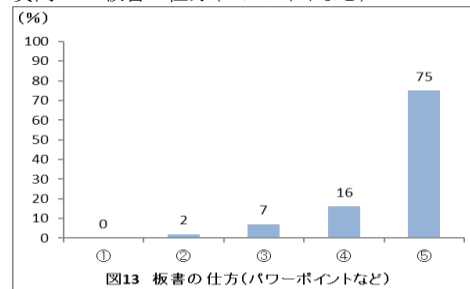
質問 12 補助教科書は効果的であった



質問 13 板書の仕方（あるいはパワーポイントなど）は適切だった

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

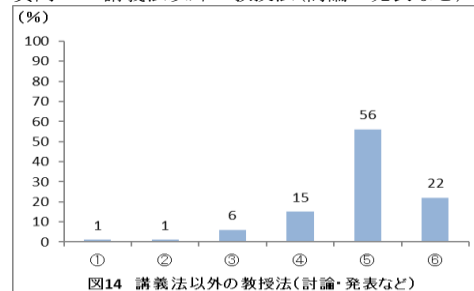
質問 13 板書の仕方（パワーポイントなど）



質問 14 教員は説明中心な講義法以外の教授法（討論・発表など）を必要に応じて適切に用いていた

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う
- ⑥ 質問がこの授業には該当しない

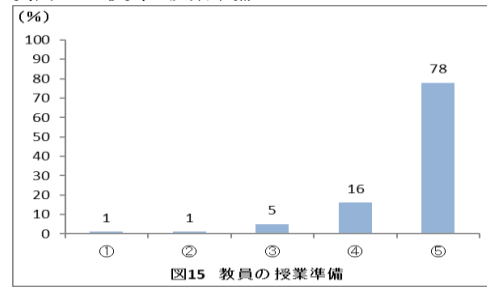
質問 14 講義法以外の教授法（討論・発表など）



質問 15 教員は授業の準備を周到に行っていた

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

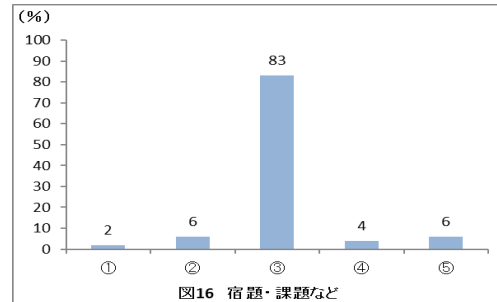
質問 15 教員の授業準備



質問 16 宿題・課題など授業外に必要な学習の時間や量は適切だったか

- ① 多すぎる
- ② すこし多い
- ③ 適切である
- ④ すこし少ない
- ⑤ 少なすぎる

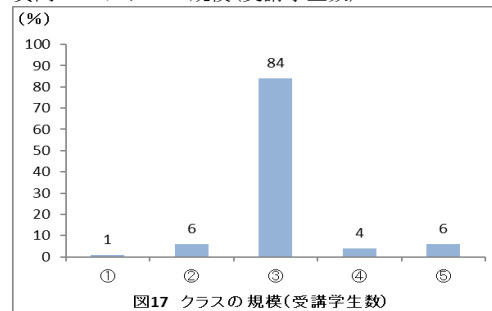
質問 16 宿題・課題など



質問 17 クラスの規模（受講学生数）は適切だったか

- ① 多すぎる
- ② すこし多い
- ③ 適切である
- ④ すこし少ない
- ⑤ 少なすぎる

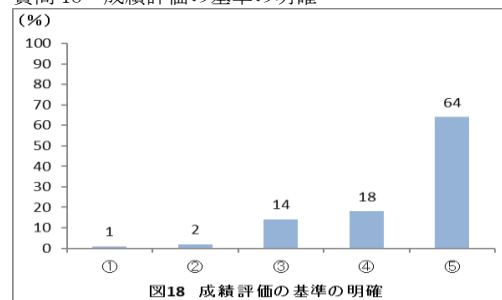
質問 17 クラスの規模(受講学生数)



質問 18 成績評価の基準を明確に示していたか

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

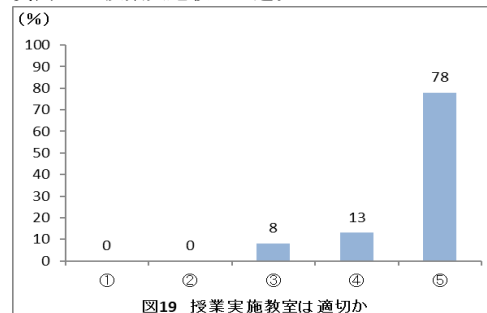
質問 18 成績評価の基準の明確



質問 19 授業実施教室（広さ・明るさ・設備・視聴覚機器の配置）は適切であったか。

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

質問 19 授業実施教室は適切か

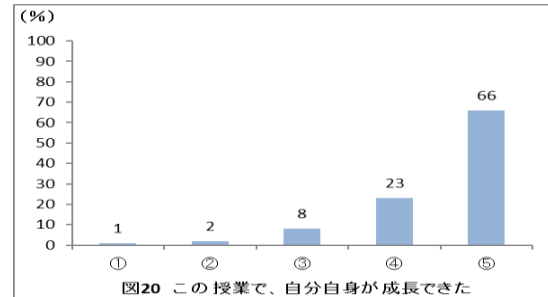


Ⅲ.授業を受けて得たもの（質問20～22）

質問 20 この授業をつうじて、自分自身が成長できた

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いに思う

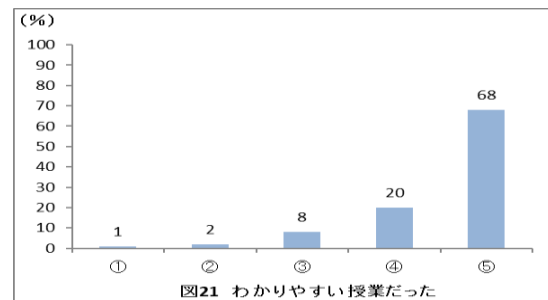
質問 20 この授業で、自分自身が成長できた



質問 21 わかりやすい授業だった

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いに思う

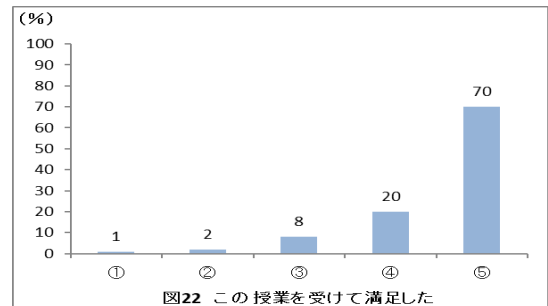
質問 21 わかりやすい授業だった



質問 22 この授業を受けて満足した

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いに思う

質問 22 この授業を受けて満足した

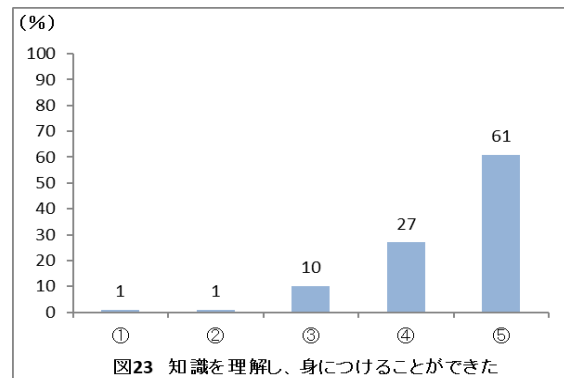


Ⅳ.授業の総合的な評価（質問23～26）

質問 23 知識を理解し、身につけることができた

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いに思う

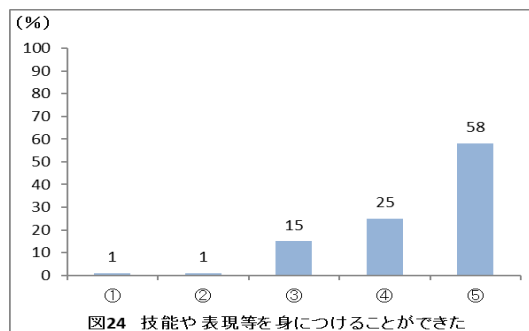
質問 23 知識・理解



質問 24 技能や表現等を身につけることができた

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いに思う

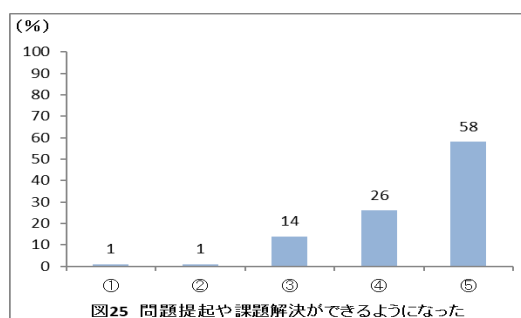
質問 24 技能・表現



質問 25 問題提起や課題解決ができるようになった

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いに思う

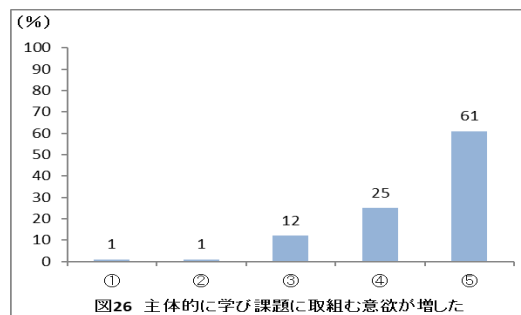
質問 25 思考・判断



質問 26 主体的に学び課題に取り組む意欲が増した

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いに思う

質問 26 意欲・関心



## 沖縄キリスト教学院大学 授業改善アンケート

このアンケートは、沖縄キリスト教学院大学の授業を改善し、さらに充実させることを目的に行われます。アンケートは、適切に処理されたうえで各教員に配布され、各教員が生データを見ることはありませんのであなたの成績評価に影響することはありません。大学を構成する重要な一員である学生として、皆さん自身が大学教育をより良いものにするという意識のもとに、率直かつ責任を持って回答して下さい。集計されたデータは、本学 HP で公表され、全学生・教職員が確認できます。また、教員からの全般的な応答も確認できます。他の学生の授業履修の参考材料にもなりますので責任を持った記述をお願いします。

### <履修動機についての質問>

質問1 この授業を履修した動機を最も適切なものを3つ選択して下さい。	選択肢
①授業内容に関心があったから	1 2
②教員に魅力があったから	3 4
③単位がとりやすそうだから	5 6
④友だちが多く履修しているから	7 8
⑤自分の専門に関係が深い分野だから	9 10
⑥幅広い教養を身につけるため	
⑦先輩に勧められたから	
⑧希望授業が取れなかったので仕方なく	
⑨必修（あるいは免許取得に必要）だから	
⑩その他	

### <数値による評価>

以下の項目に対して、あなたにとって5段階のどの評価であるか、評価欄のあてはまる数字に○をつけて下さい。

- ①そう思わない    ②あまりそう思わない    ③どちらともいえない    ④そう思う    ⑤大いにそう思う  
⑥質問がこの授業には該当しない

I この授業へのあなたの取り組みについて、以下の項目にどの程度当てはまりますか。	評価欄
質問2 授業全体を通じての欠席回数は何回くらいですか ①4回以上    ②3回    ③2回    ④1回    ⑤皆出席	1 2 3 4 5
質問3 私語・居眠りなどせずに真面目に授業に参加した	1 2 3 4 5
質問4 この授業の履修にあたって十分な準備ができていた（どのような授業が調べて履修したか、自分の学力レベルにあっているかを確認したか、など）	1 2 3 4 5
質問5 授業をきっかけにして自分自身で発展的な学習をした	1 2 3 4 5
質問6 この授業に関連して、授業時以外に学習した時間（平均して1週間で） ①ほぼ0時間    ②1時間未満    ③1～2時間    ④2～3時間    ⑤3時間以上	1 2 3 4 5

II この授業の進め方などに関連して、以下の項目にどの程度当てはまりますか。	評価欄
質問7 聞きやすい話し方だった（スピード・音量・マイクなども含む）	1 2 3 4 5
質問8 各回の授業内容の量が適切だった	1 2 3 4 5
質問9 各回の授業内容は明確だった	1 2 3 4 5
質問10 教員は授業を乱す行為（私語・携帯電話・メール・居眠り・中座等）に対して適切な対応をした	1 2 3 4 5
質問11 教科書（難易度・使用頻度など）は適切であった	1 2 3 4 5
質問12 補助教材（授業プリント・視聴覚教材）は効果的であった	1 2 3 4 5
質問13 板書の仕方（あるいはパワーポイントなど）は適切だった	1 2 3 4 5
質問14 教員は説明中心な講義法以外の教授法（討論・発表など）を必要に応じて適切に用いていた	1 2 3 4 5
質問15 教員は授業の準備を周到に行っていた	1 2 3 4 5
質問16 宿題・課題など授業外に必要な学習の時間や量は適切だったか ①多すぎる    ②すこし多い    ③適切である    ④すこし少ない    ⑤少なすぎる	1 2 3 4 5
質問17 クラスの規模（受講学生数）は適切だったか ①多すぎる    ②すこし多い    ③適切である    ④すこし少ない    ⑤少なすぎる	1 2 3 4 5
質問18 成績評価の基準を明確に示していたか	1 2 3 4 5
質問19 授業実施教室（広さ・明るさ・設備・視聴覚機器の配置）は適切であったか	1 2 3 4 5



Ⅲ 総合的に見て、この授業は以下の項目にどの程度あてはまりますか。		評価欄				
質問 20	この授業を通じて、自分自身が成長できた	1	2	3	4	5
質問 21	わかりやすい授業だった	1	2	3	4	5
質問 22	この授業を受けて満足した	1	2	3	4	5

Ⅳ 学修成果の到達度の自己評価		評価欄
<p>この授業では、みなさんが卒業までに獲得する力（=学修成果）につながる「到達目標」があります。その到達目標において、以下の項目を自己評価してください。該当しない項目については「①そう思わない」でも構いません。</p> <p>①そう思わない      ②あまりそう 思わない      ③どちらとも いえない      ④そう思う      ⑤大いに そう思う</p>		
質問 23	この授業内で説明された知識を理解し、身につけることができた。（知識・理解）	1 2 3 4 5
質問 24	ルーブリックに示されている技能や表現等を身につけることができた。（技能・表現）	1 2 3 4 5
質問 25	この授業で学習した知識や技能を活用して、あなた自身や周囲の、問題提起や課題解決ができるようになった。（思考・判断）	1 2 3 4 5
質問 26	この授業の分野に対する関心が高まり、自ら主体的に学ぶ意欲、または課題に取り組む意欲が増した。（意欲・関心）	1 2 3 4 5

<記述による評価>

みなさん自身が授業をより良いものにするという意識のもと、率直かつ責任を持って記入して下さい。みなさんの回答は、教員が読み、授業改善の参考にします。無責任な誹謗中傷は厳に慎み、真摯な回答をお願いします。もちろん成績にはいっさい影響しません。

質問 27 この授業で良いと思ったことがあれば書いて下さい。


質問 28 この授業で改善すべきだと思った点があれば、実現可能な改善案を具体的に書いて下さい。


科目名： \_\_\_\_\_ 学籍番号： \_\_\_\_\_ 学年 \_\_\_\_\_ 性別（男 女） 入試区分（一般 推薦 AO） \_\_\_\_\_